

「伊賀市の未来を創造する図書館ワークショップ」について（報告）

第1回 2021（令和3）年4月10日（土）14時～16時

場 所：ハイトピア伊賀 5階大研修室

テーマ「そもそも図書館ってどんな場所？」

参加者：40人（8グループ×5人）

内 容：図書館に「あるもの」と「ないもの」を抽出し、「ないもの」が図書館にない理由を議論した。

結 果：従来の図書館にないものは、居心地の良さ、交流できる機能であるとの意見に集約できました。

「居心地がよく、交流が生まれ、利用者がつながっていく図書館」づくりに向けて第2回に臨むことになりました。

第2回 2021（令和3）年4月24日（土）14時～16時

場 所：ハイトピア伊賀 5階大研修室

テーマ「まちづくりに活かせる図書館を考えてみよう！」

参加者：45人（8グループ×5人（または6人））

内 容： 図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか。

図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか。

それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるとすれば？について議論した。

結 果：人々の交流が何を生み出すかが大きなテーマになりました。

「幸せを感じる、シビックプライドが育まれる、多様性が共有される、意外性を感じられる」などの意見が多く見られました。

※第3回は、新型コロナウイルス感染拡大により中止したことから、これまでのワークショップ参加者から課題に対する意見を求めた。（書面で提出）

課 題「自分ならどのように新しい図書館のサービス、機能、役割に関わることができるでしょうか？」

意 見：ボランティアとして活動したいとの意見が多く見られました。

ジャンルや分野は様々ですが、「YouTube チャンネルの運営、映像制作、読み聞かせ、イベントスタッフ、資料整理、新図書館の案内、環境整備、市民の声を届ける」など新図書館の運営に関わりたいとのご意見を多くいただきました。

【ワークショップ全体を通して】

定員を超える申し込みがあり、市民の図書館への関心の高さがうかがえました。各グループにおいても参加者が積極的に意見を出し合い、前向きな議論がなされました。当初は「〇〇してほしい」といった行政に求めるような意見が多くみられましたが、ワークショップを進める中で、自分たちが新しい図書館づくりに関わっていくという意識が芽生え、今後も関わっていきたいという意思を表明される方も見られました。

ワークショップで出された意見の多くは、新しい図書館の具体的な機能やサービスについてでしたが、ワークショップから得た一番のものは、新しい図書館を市民とともに創っていくことの必要性であるといえます。計画作成のプロセスを市民と共有し、関わることで、新しい図書館が「自分たちの図書館」である意識を持つことに繋がり、完成後もそれぞれの形で継続的に関わっていただくことで、持続可能な図書館運営、さらには新しい図書館を通したまちづくりへの繋がりが期待できます。

【伊賀市新図書館基本計画への反映】

ワークショップでの意見を受け、市民の意見として次の事項を重点テーマに追加します。

- ・市民が図書館づくりのプロセスを共有できる図書館
- ・市民と協働して運営する図書館
- ・市民が愛着や誇りを持てる図書館
- ・いろんな人々が利用でき、集うことが可能になるような多様性のある図書館
- ・すべての人に開かれた図書館

2021 年 伊賀市の未来を創造する図書館ワークショップ

第 1 回 結果概要

伊賀市では現在、公民連携手法を用いた施設整備を進めるべく、旧上野市庁舎を改修し、伊賀市上野図書館の移転整備を計画しています。

そこで、新しい図書館が、「学び、創造、憩いの広場」となる交流型図書館を目指し、機能や空間等、図書館のあり方を、市民の皆さんと一緒に考え、創るため、ワークショップを開催しています。

■第 1 回ワークショップの概要

開催日時：2021 年 4 月 10 日（土） 14:00～16:00

開催場所：ハイトピア伊賀 5 階大研修室

開催内容：テーマ【そもそも図書館って、どんな場所？】

1. ワークショップのルール説明
2. 歴史的建造物の活用事例を紹介
3. グループディスカッション

- ・従来の図書館の機能を参加者で共有し、図書館に「あるもの」と「ないもの」を抽出し、その後、「ないもの」が図書館に「ない」理由を議論しました。
- ・グループ内での役割はファシリテーターが公平に指名しました。全員が何かの役割を担うことで、全員が主体的に関わる場を作りました。



■参加者数

40 名（8 グループ×5 人）

■ワークショップの結果の概要

一般に【図書館】と聞いてイメージする固定概念を取り払い、柔軟な発想が重要であるとの気付きを得た参加者が多く見られました。

多様な利用者にとって居心地の良い場所としての図書館が求められています。

図書館のニーズを捉え、交流（≡つながる）型図書館のイメージを共有しつつ、市民に親しまれ、使われる図書館、「図書館らしくない図書館」づくりに向けて、次回のワークショップに臨みたいと思います。



○図書館に「あるもの」（抜粋）

【人】

- ・お客さん/学生/高齢者/幼児/ボランティア/掃除する人/子ども/職員/司書/館長/

【モノ】

- ・本棚/書庫（閉架）/本/小説/漫画/参考書/雑誌/パンフレット/地域資料/新聞/点字図書/歴史資料
- ・CD/映像・映画（ビデオ、DVD、ブルーレイ）
- ・絵本/紙芝居/布絵本/エプロンシアター/パネルシアター/絵画/チラシ/ポスター
- ・庭/植物/花/文化財

【設備】

- ・検温器/消毒薬/本の消毒器
- ・貸出カード/貸出機械/コピー機
- ・照明/電子レンジ/コインロッカー/水飲み場/自販機/ベビーベッド

- ・机/椅子（楽なもの、本棚のあいたスペースに配置できるもの）/ソファ
- ・パソコン/BGM/CD プレーヤー/スタンド/カウンター/検索機（OPEC）

【場所】

- ・カフェ、喫茶室/休憩室/和室/トイレ
- ・資料室/会議室/お話スペース/学習室/閲覧室/ロビー、受付
- ・視聴覚室、AV コーナー/紙芝居スペース/デジタルミュージアム/展示コーナー、地域の偉人コーナー
- ・駐車場
- ・発見/読み聞かせ/子どもお話し会/子どものスペース

【その他】

- ・地域性/文化/歴史
- ・静かな空間/BGM
- ・Web サービス
- ・イベント/展示/講演会

○図書館に「ないもの」（抜粋）

【人】

- ・男性司書
- ・車いす手話通訳する人

【モノ】

- ・テレビ/電子書籍/点字図書/伝統文化の本/雑誌/本/多種類の本がそろってほしい/外国語図書/新聞（分館）
- ・TV ゲーム/貸出タブレット
- ・コーヒー

【設備】

- ・貸出パソコン/Wi-Fi/パソコン検索
- ・各自の本読む照明/スロープ/ソファ、リラックスチェア、ロッキングチェア/ハンモック/ベッド
- ・音の出るもの/BGM/ビデオ/テレビ/CD、DVD 等再生機器
- ・脚立
- ・ポスト
- ・エレベーター・エスカレーター/スロープ/手すり

【場所】

- ・物理的な広さ（全体的に）/車いすの通れる通路の広さ/ボランティアルーム
- ・映画、DVD を見られる部屋/音楽ホール
- ・広場（屋外）/芝生、外での読書スペース
- ・ハローワーク/観光案内/ショップ（伊賀の物）
- ・寝る場所/保健室/休憩室
- ・足湯
- ・遊具
- ・大きい書庫/保管場所
- ・体験工房/キッチン/食堂、喫茶、飲食コーナー/物販/飲食しながら本が読めるコーナー
- ・幼児、子どもの部屋（遊べる場所）/幼児用トイレ/多目的トイレ/授乳室、子育て支援スペース
- ・若者が気軽に入れるコーナー/サークル活動ができる部屋
- ・レンタルルーム/24 時間コーナー/個室/自習スペース
- ・異年齢の世代が交流できるコーナー、大人、子どもの本コーナー/本の交流会/ゆったり本文化にふれる場
- ・音、声を出していい場所（テレビ会議、グループで勉強したり話し合える）
- ・誰でもいつでも一日中いられる場所/居心地の良い場所
- ・広い駐車場

【その他】

- ・多世代交流/にぎやかさ
- ・自分の求める本を答えてくれる機械か人
- ・景色の良い場所
- ・お酒/居酒屋
- ・司書さんとのミーティング（本の紹介などの）
- ・本の宅配/夜間営業
- ・お金がかかるもの
- ・情報発信（本の良さ、開示されている情報が少ない、HP の内容がしょぼい）
- ・動物/緑、自然

- ・コンシェルジュ
- ・巡回バス（図書館がなくなりつつある地域）
- ・忙しくて時間がない
- ・本館と分館と同じサービスが受けられない
- ・イベント/フェス/美術品芸術品の展示/展示コーナー/上映会/生涯学習が一部だけ少ない/参加型プログラムがない
- ・いろんな講座、講演（社会人、外国語、着付けなど）

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等（抜粋）

【ヒト】

- ・男性司書の待遇が良くない
- ・お年寄り、若手、子ども→いろんな人が集まる→いろんな問題がでる

【モノ】

- ・資料予算が不足している/利用者制限

【サービス】

- ・コーディネートの仕組みがない、拠点になっていない、住民の声をひろえない/空間が狭い
- ・交通の便が悪い
- ・市民の問題とリンクしていない
- ・全域サービスになりえていない
- ・予算の問題→企業などの出資者を募る
- ・時代背景変わる、設計者の考え方、図書館のふさわしさにあわないという考え、固定観念→図書館らしくない図書館、居心地のよい居場所としての図書館
- ・ショップがなく、本を売っていない

【スペース】

- ・本を求めるのではなく居場所を求めている
- ・良い景色をみる→上野公園の木を切ってもらおう
- ・確保できるスペースがないと利用者が減る

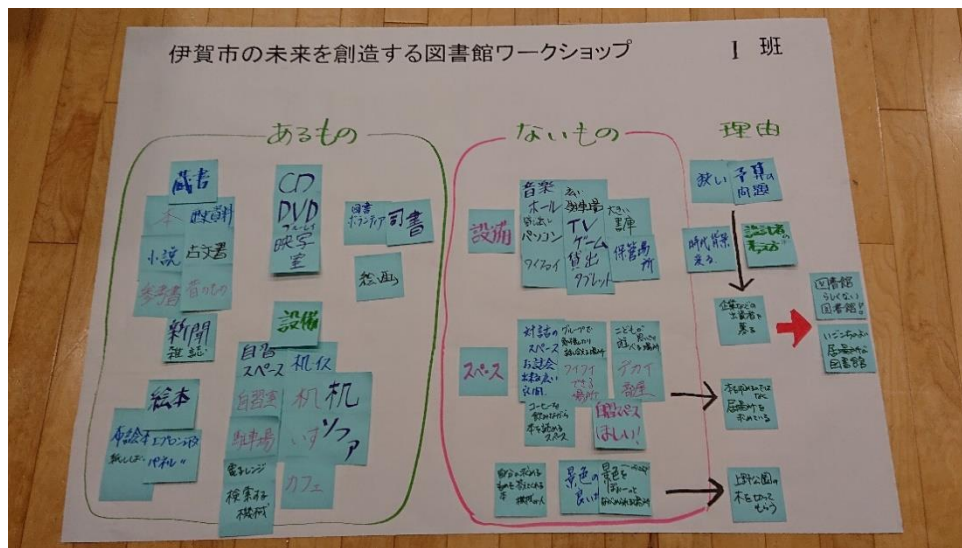
【その他】

- ・市民に開かれた要望を聞く場がなかった→市民の声、知恵が出ない、
- ・展示コーナーを子どもたちの目にふれる場所にし、子どもを育てていく
- ・動物がいない、猫カフェのようにどうしてできないか
- ・外部の人が訪れる意識がない
- ・時間はそれぞれの人の持つ感じ
- ・本館と分館情報共有がされていない/組織の連携
- ・HPの改善が必要
- ・公民館と図書館の垣根をなくす
- ・カフェコーナーがないのは本を汚すから
→飲食スペースと貴重資料スペースを分ける
→今までダメだったものを変えていくこともあり
- ・コーディネート/拠点/全域サービス
- ・知的拠点/仕組みが大事/「つながる」がキーワード/ヒトが大事/本も大事



■各班のワークショップの結果

〔 1 班〕



○図書館に「あるもの」

- ・蔵書/本/小説/参考書/歴史資料/古文書/昔の物/新聞/雑誌
- ・絵本/布絵本/エプロンシアター/パネルシアター/紙芝居
- ・CD/DVD ブルーレイ/映写室
- ・図書ボランティア/司書
- ・設備/自習スペース（室）/駐車場/電子レンジ/検索する機械/机/椅子/ソファ/カフェ
- ・絵画

○図書館に「ないもの」

【設備】

- ・音楽ホール/貸出パソコン/Wi-Fi/広い駐車場/TV ゲーム/貸出タブレット/大きい書庫/保管場所

【スペース】

- ・対話出来る広いスペース/グループで勉強したり話し合える場所/ワイワイできる場所/コーヒーを飲みながら本を読めるスペース/子どもが思い切り遊べる場所/自習スペース

【その他】

- ・自分の求める本を答えてくれる機械か人/景色（お城）を眺められる場所/景色の良い場所

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等

- ・狭い、予算の問題、時代背景変わる、設計者の考え方
 - 企業などの出資者を募る
 - 図書館らしくない図書館、居心地のよい居場所が図書館
- ・スペースがない
 - 本を求めるのではなく居場所を求めている
- ・良い景色をみる
 - 上野公園の木を切ってもらう



〔 2 班〕



○図書館に「あるもの」

- ・司書/ボランティア/館長/掃除する人/子ども
- ・書架/本棚/新聞/チラシ/本/貸出出来ない本/雑誌/紙芝居/布絵本/貸出カード
- ・照明/貸出機械/パソコン/カウンター/受付/コピー機/机/椅子/会議室/学習室/コインロッカー/水飲み場/トイレ/駐車場/ベビーベッド/自販機/ロビー

○図書館に「ないもの」

【施設の面】

- ・足湯/サークル活動ができる部屋/レンタルルーム/個室/体験工房/キッチン/授乳室/寝る場所/芝生
- ・駐車場/脚立/観光案内/ポスト/ソファ、リラククスチェア、ロッキングチェアー
- ・映画、DVD を見られる部屋/BGM
- ・車いす手話通訳する人/点字図書/車いすの通れる通路の広さ/多目的トイレ/スロープ/手すり/ボランティアルーム/エスカレーター/

【スペースがない、イベントがない】

- ・イベント/お酒/カフェ/食堂/物販/キヨスク

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等

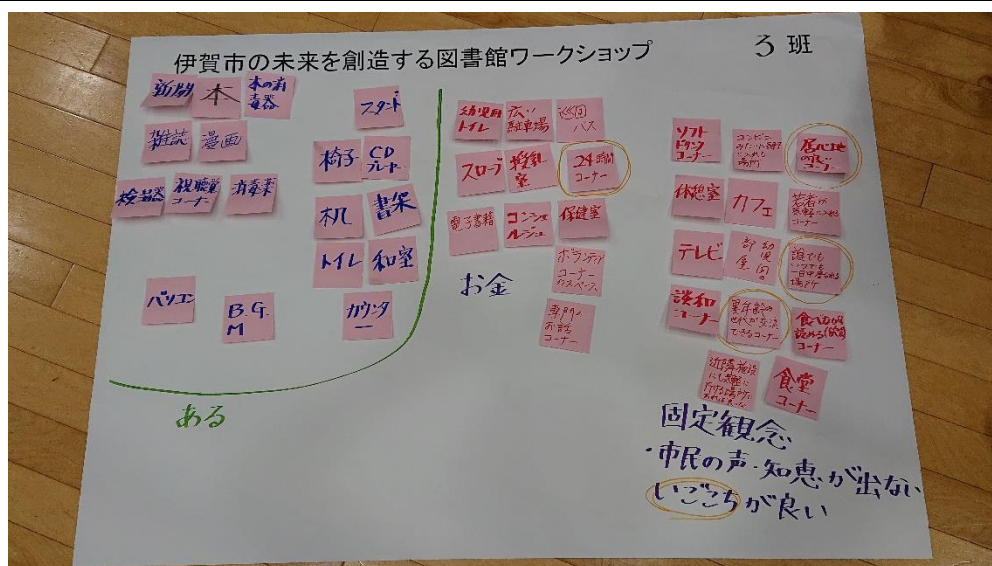
- ・キーワード「いろんな人が集まる」
- ・従来のイメージ、スペース
- ・お年寄り、若手、子ども→いろんな人が集まる→いろんな問題
- ・図書館のふさわしさにあわないという考え

<感想>

- ・最初のとりかかりがどうすればよいのかわからなかった
- ・もう少し時間がほしい（ゆっくり話したい）
- ・ちょいちょいのアドバイスコーディネーターが常駐でよかったのでは



〔3 班〕



○図書館に「あるもの」

- ・新聞/本/雑誌/漫画
- ・検温器/消毒薬/本の消毒器
- ・パソコン/BGM/CD プレーヤー/椅子/スタンド/カウンター/机/書架
- ・視聴覚コーナー/和室/トイレ

○図書館に「ないもの」

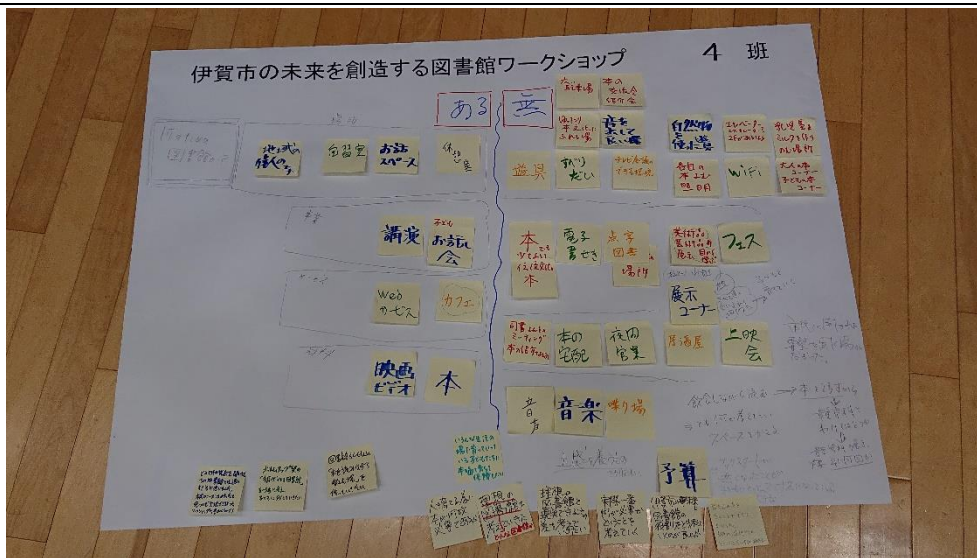
- ・幼児用トイレ/授乳室/スロープ/保健室/休憩室/談話コーナー/食堂コーナー/幼児用の部屋/飲食しながら本が読めるコーナー/若者が気軽に入れるコーナー/カフェ/ソフトドリンクコーナー/24 時間コーナー
- ・テレビ/電子書籍
- ・コンシェルジュ/巡回バス/広い駐車場
- ・異年齢の世代が交流できるコーナー/誰でもいつでも一日中いられる場所/居心地の良い場所

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等

- ・お金
- ・固定観念
- ・市民の声、知恵が出ない、
- ・居心地が良い場所としての図書館



〔 4 班〕



○図書館に「あるもの」

【何のための図書館か？】

【場所】

- ・地域の偉人コーナー/お話スペース/自習室/休憩室

【事業】

- ・子どもお話し会/講演

【サービス】

- ・Web サービス/カフェ

【材料】

- ・本/映画ビデオ

○図書館に「ないもの」

- ・広い駐車場/エレベーター・エスカレーター/乳児室、ミルクを作り飲む部屋/大人の本コーナー/子どもの本コーナー
- ・遊具/滑り台
- ・音を出していい場所/テレビ会議のできる環境/喋り場
- ・ゆったり本文化にふれる場/本の交流会
- ・各自の本読む照明/Wi-Fi/電子書籍/点字図書/伝統文化の本
- ・司書さんとのミーティング（本の紹介などの）/本の宅配/夜間営業/居酒屋
- ・フェス/美術品芸術品の展示/展示コーナー/上映会/音楽/音声/

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等

- ・展示コーナーを子どもたちの目にふれる場所にし、子どもを育てていく
- ・飲食しながら読む→本を汚すのでは
→貴重資料と分けてはどうか→貴重資料の展示が必要（年に何回か）
→スペースを変える
- ・市民に開かれた要望を聞く場がなかった
- ・予算
- ・ブックスタートがなくなったことが子どもにとって大きなマイナスになっている
- ・いろんな生活の場で育っている子どもたちに本を通じて育ちを保障したい
- ・五感を養うものでありたい
- ・人を育てるために本がなぜ必要であるか
- ・理想の図書館（どんな図書館か）を考えていきたい
- ・理想の図書館と現実でできることの差を考えていきたい

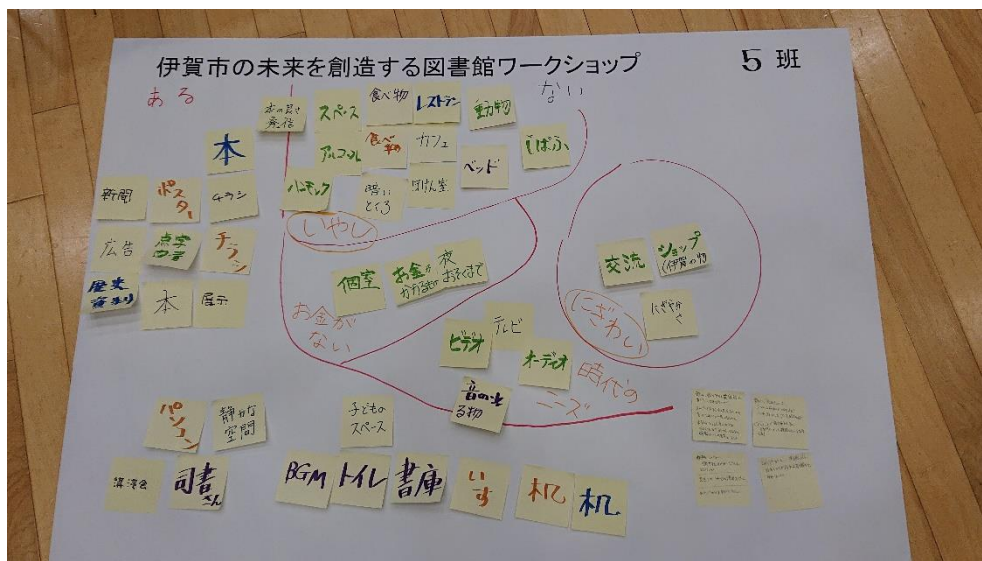
- ・ 実際一番何が必要かということを考えていく
- ・ 伊賀市の未来に図書館の役割をどう考えていくのが良いか

<感想>

- ・ どの班の発表を聞いても今の図書館とは違いすぎると感じました市民のニーズはわかったと思うので実現できるようにワークショップに参加したいです
- ・ ボトムアップ型の「市民が作る図書館」を一緒に考え子どもに残していきたい
- ・ 図書館らしくない「本を読みながら楽しむ場」を作っていきたい
- ・ 皆さんの話を聞くことができてよかった今後は具体的にどういう内容にするかを話し合いたい



〔5 班〕



○図書館に「あるもの」

- ・本/チラシ/ポスター/新聞/広告/点字図書/歴史資料
- ・パソコン/書庫/椅子/机/トイレ
- ・司書さん
- ・子どものスペース/静かな空間/BGM
- ・展示/講演会
- ・本の良さの発信

○図書館に「ないもの」

【いやし】

- ・本の良さの発信/スペース/アルコール/レストラン/カフェ/食べ物/保健室/暗いところ/ハンモック/ベッド/芝生/動物

【お金がない】

- ・個室/お金がかかるもの/夜遅くまで

【時代のニーズ】

- ・音の出るもの/ビデオ/テレビ/オーディオ

【にぎわい】

- ・交流/ショップ（伊賀の物）/にぎやかさ

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等

- ・飲んだり食べたりは習慣的に昔からあまりしてきていない
- ・コーナー分けされていると良いか、音やにおいが気になるか
- ・水分はとっても良いのでは
- 今までダメだったものを変えていくこともあり
- ・静かに読みたい人向けには、スペースがあれば分ける、ヘッドフォンをする
- ・アルコールがあればと思うが車で来る人が多い、時間によって提供している都市もあるが。
- ・動物がいない猫カフェのようにどうしてできないか
- ・芝生、外での読書スペース
- お金がかかるものはない
- ・ショップがなく、本を売っていない
- ・外部の人が訪れる意識がない



〔 6 班〕



○図書館に「あるもの」

【人、図書館の中の時間、限定された交流】

- ・本/雑誌/パンフレット
- ・司書
- ・静けさ
- ・パソコンでの検索システム/
- ・音楽/DVD 鑑賞室/勉強コーナー/本棚/机/椅子（楽なもの、本棚のあいたスペースに配置できるもの）
- ・庭/植物/花/文化財/展示
- ・発見/読み聞かせ/幼児
- ・地域性/文化/歴史

○図書館に「ないもの」

- ・図書館がなくなりつつある地域の巡回バス
- ・雑誌/本/多種類の本がそろってほしい
- ・多世代交流/音（声）を出すもの、おしゃべり、会話
- ・物理的な広さ（全体的に）/スペース/映画館/喫茶/飲食ブース/広場（屋外）/ハローワーク/子どもが遊ぶ場/子育て支援スペース/ゴロゴロできる所
- ・パソコン検索（本がみつからない）
- ・ソファ
- ・図書館の概念
- ・忙しくて時間がない

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等

- ・時間はそれぞれの人の持つ感じ
- ・パソコン使用者が使いやすい方法に気付いていない

<感想>

- ・従来の図書館をイメージしないで考えると思ったので考えがまとまりませんでした
- ・今日のワークショップ、にぎわいがあり楽しかったです時間があったら参加したいなーと思いました
ありがとうございました
- ・ファシリテーターが少々、指導しすぎかな
- ・グループのファシリがないと短時間では上手く進行できないと思います
- ・発表者はできれば自発的な方がよい



〔 7 班〕



○図書館に「あるもの」

- ・ 本/新聞/書庫（閉架）
- ・ 検索機（OPEC）
- ・ デジタルミュージアム/展示コーナー/視聴覚室、AV コーナー/学習コーナー

○図書館に「ないもの」

【屋内】

- ・ パソコン（コロナだから）/CD、DVD 等再生機器/分館には新聞
- ・ 手に取れる本が少ない
- ・ 子どもスペース、学習スペースの広さ
- ・ 本館と分館と同じサービスが受けられない
- ・ 開示されている情報が少ない/HP の内容がしょぼい
- ・ 生涯学習が一部だけ少ない/参加型プログラムがない

【屋外】

- ・ カフェコーナー/駐車場が足りない

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等

- ・ 確保できるスペースがないと利用者が減る
- ・ 本館と分館情報共有がされていない/組織の連携
- ・ HP の改善が必要
- ・ 公民館と図書館の垣根をなくす
- ・ カフェコーナーがないのは本を汚すから



〔 8 班〕



○図書館に「あるもの」

【人】

- ・職員/司書さん/お客さん/子ども/学生/高齢者

【モノ】

- ・検索機/映像/CD
- ・本/雑誌/絵本/地域資料
- ・イベント

【設備】

- ・机/椅子
- ・喫茶室/紙芝居スペース/資料室/会議室/学習室/閲覧室/トイレ
- ・駐車場

○図書館に「ないもの」

【人】

- ・男性司書

【サービス】

- ・いろんな講座、いろんな講演（社会人、外国語、着付けなど）
- ・情報発信

【モノ】

- ・電子本/タブレットの貸出/外国語図書
- ・コーヒー

【設備】

- ・エレベーター/乳幼児スペース/緑、自然

○図書館に「ない」理由、意見のまとめ、キーワード等

- ・コーディネート/拠点/全域サービス
- ・知的拠点/仕組みが大事/「つながる」がキーワード/ヒトが大事/本も大事

- ・【ヒト】→男性司書の待遇が良くない
- ・【モノ】→資料予算が不足している/利用者制限
- ・【サービス】→コーディネート仕組みがない、拠点になっていない、住民の声をひろえない/空間が狭い
- ・交通の便が悪い
- ・市民の問題とリンクしていない
- ・全域サービスになりえていない

<感想>

- ・ほかの図書館と比較できるような資料（紙の資料）がほしいです。
- ・ワークショップに参加するのは数えるほどで、空気感をつかむのに少し時間がかかりましたが、2回目はもっとスムーズに意見を出せるようにしたいです。



2021 年 伊賀市の未来を創造する図書館ワークショップ

第 2 回 結果概要

伊賀市では現在、公民連携手法を用いた施設整備を進めるべく、旧上野市庁舎を改修し、伊賀市上野図書館の移転整備を計画しています。

そこで、新しい図書館が、「学び、創造、憩いの広場」となる交流型図書館を目指し、機能や空間等、図書館のあり方を、市民の皆さんと一緒に考え、創るため、ワークショップを開催しています。

■第 2 回ワークショップの概要

開催日時：2021 年 4 月 24 日（土） 14:00～16:00

開催場所：ハイトピア伊賀 5 階大研修室

開催内容：テーマ

【まちづくりに活かせる図書館を考えてみよう！】

1. WS ルール説明、事例紹介
2. グループディスカッション

以下の内容について議論しました。

- ・図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？
- ・図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？
- ・それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？



■参加者数

45 人（5 グループ×6 人+3 グループ×5 人）

■ワークショップの結果の概要

一般的な図書館が提供するサービスだけでなく、人々の交流が発生する場所として求められるサービスや役割、機能について考えました。

図書館が人の「幸せ」の中心であり、図書館自体をシビックプライドをつくるものとしてとらえ、多様性と“伊賀”い性のある図書館を目指していくことが重要であるとの気づきを得た参加者が多くみられました。

総評

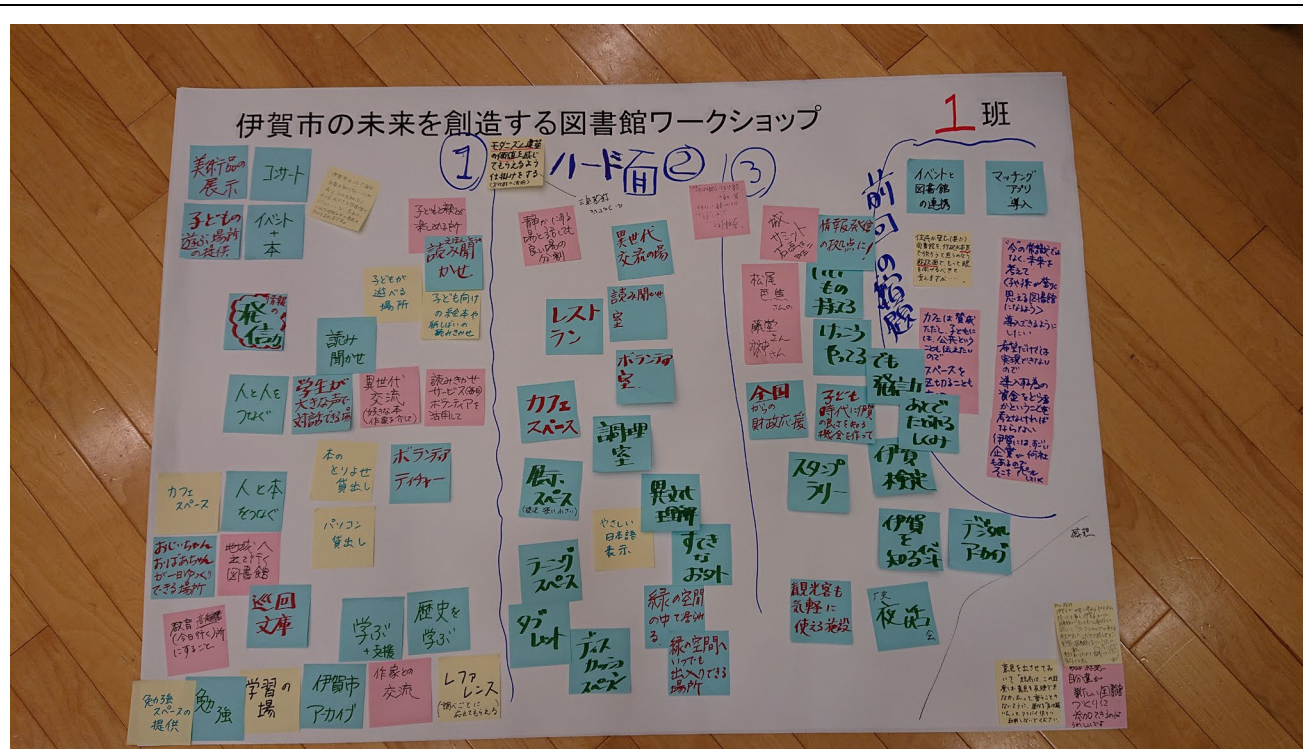
伊賀市出身の著名人 ⇒ 伊賀生まれとしてのプライドを作り
図書館が人の「幸せ」の中心に
図書館自体をシビックプライドを作るものにする
ポイントカード／公共交通と図書館の連携
寛くことができる空間
どんでん返しの扉を！ “伊賀” い性のある図書館に
安心安全な施設 空き時間にフラッと立ち寄れる場所
伝統的なもてなしが受けられる空間
国際的な交流ができる空間
「儲ける！」ことを念頭に
忍者研究・忍び学の聖地に、芭蕉に関わるものが揃う場所
情報を発信する場所、何らかの活動を提供する「場」
環境に配慮した建物

交流が発生する場所づくり



■各班のワークショップの結果

〔 1 班〕



○図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？

- ・美術品の展示/コンサート/イベント+本
- ・情報の発信力
- ・子どもと親が楽しめる所/絵本等の読みきかせ/子どもが遊べる場所/子どもの遊ぶ場所の提供/子ども向けの絵本や紙芝居の読みきかせ/読み聞かせ/読みきかせサービス（毎日）ボランティアを活用して/
- ・異世代交流（好きな本、作家を介して）/学生が大きな声で対話できる場/人と人をつなぐ/人と交流できる場 /作家との交流
- ・ボランティアティーチャー
- ・ほんの取り寄せ・貸出/パソコン貸出/レファレンス（調べごとに応えてもらえる）
- ・カフェスペース/人と本をつなぐ/おじいちゃんおばあちゃんが一日ゆっくりできる場所
- ・地域へ出ていく図書館/
- ・教育（今日行く）所にすること/巡回文庫/勉強スペースの提供/勉強/学習の場/伊賀市アーカイブ/学ぶ+支援/歴史を学ぶ/伊賀市を知ることができる場

○図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？

- ・モダンイズム建築の価値を感じてもらえるような仕掛けをする（文化財の活用）
- ・静かにする場と話しても良い場の分割/異世代交流の場
- ・読み聞かせ室/ボランティア室/
- ・レストラン/カフェスペース/調理室
- ・展示スペース/異文化理解/やさしい日本語表示/ラーニングスペース/ディスカッションスペース/

- ・タブレット
- ・すてきなお外/緑の空間の中で居られる/緑の空間へいつでも出入できる場所

○それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？

- ・「多様性といがい性（意外/伊賀）」
- ・誇れる
- ・城/サミット/石垣
- ・松尾芭蕉さん
- ・藤堂さん
- ・天神さん
- ・情報発信の拠点に
- ・いいもの持ってる
- ・けっこうやってる
- ・でも発信力
- ・あとでたどれるしくみ
- ・伊賀検定
- ・スタンプラリー
- ・伊賀を知るイベント
- ・デジタルアーカイブ
- ・夜活
- ・観光客も気軽に使える施設

<第1回の宿題（もしあなたが図書館の担当者だったらどのようにして“ない”ものを導入/設置、取り込みますか？）>

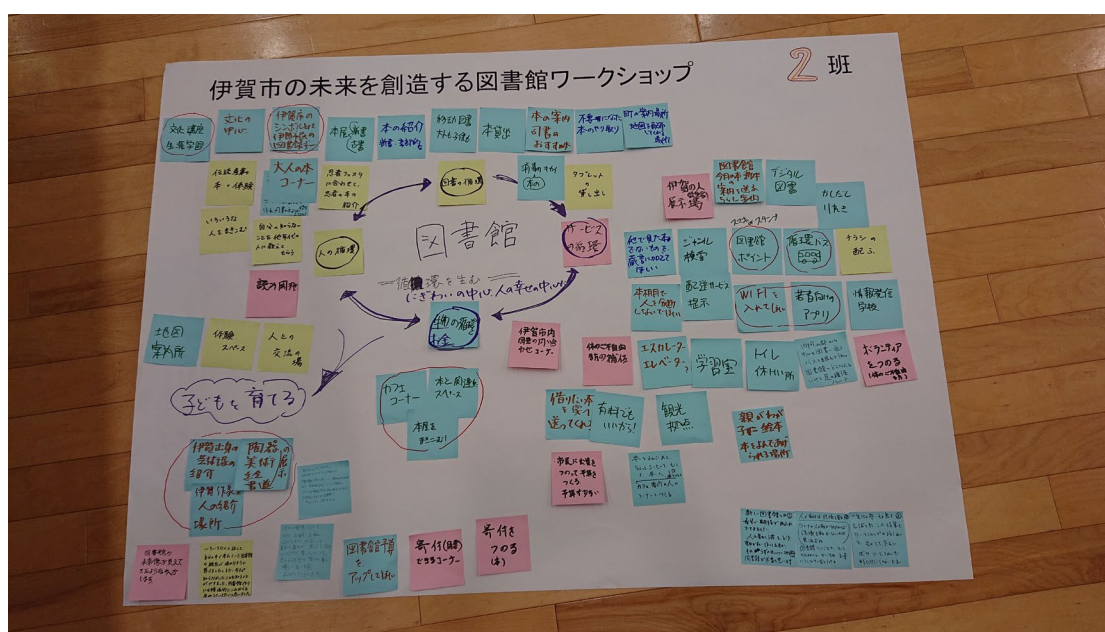
- ・イベントと図書館の連携
- ・マッチングアプリ導入
- ・住民が望む（喜ぶ）図書館を行政が本気で作ろうと思うのなら財政面でもっと目を開けるべき
- ・”今”の常識ではなく未来を考えてく子や孫が誇りに思える図書館になるよう導入できるようにしたい
- ・導入する際の資金をどうするかという事を考えなければならない
- ・伊賀にはすごい企業が何社もあるのでそこをアピール
- ・カフェは賛成であるが、子供には公共ということも伝えたいためスペースを区切ることも必要

<感想>

- ・「この程度の意見しか反映できなかった」ということのないように
- ・自分達が新しい図書館づくりに参加できるのは嬉しい
- ・伊賀市が世界に誇れるものを沢山持っていることを図書館から発信してほしい
- ・新しい図書館づくりに意見を取り入れ、実践して行ってほしい



〔 2 班〕



○図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？

- ・文化講座/生涯学習/伊賀市のシンボルとして伊賀市民の図書館デー/本屋（新書・古書）/本の紹介（新書・季節的な）/移動図書（大人も子供も）/本貸出/本の案内、司書のおすすめ本/不要になった本のやり取り/町の案内場所、地図として配布してくれる場所
- ・伝統産業の本+体験/大人の本コーナー/忍者フェスタに合わせて忍者の本の紹介/いろいろな人を巻き込む/自分の知らないことを他年代の人に教えてもらう/読みきかせ/地図案内所/体験スペース/人との交流の場
- ・伊賀出身の芸術家の紹介/陶器・美術・絵・書道の展示/伊賀作家の人の紹介場所

○図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？

【施設の面】

- ・本と関連したスペース/本屋をまきこむ
- ・カフェコーナー/伊賀市内図書問合わせコーナー/トイレ休憩所/親子が絵本を読んであげられる場所/カフェ専門の人のコーナーを作る
- ・借りたい本を家へ送ってくれる（有料でも良い）/配送サービス定時/デジタル図書/貸出履歴/他で見た本でないものを蔵書に加えてほしい/ジャンル検索/
- ・図書館ポイント（スマホ or スタンプ）
- ・Wi-Fiを入れてほしい/若者向けのアプリ/情報発信学校
- ・循環バス/旧阿山郡から中心の図書館へ通うバスを組んでほしい/図書館へどんな人もいける足、ルートの確保
- ・市民に出資をつのって予算を作る/予算が少ない/寄付（図書）できるコーナー/寄付をつのる（本）
- ・図書館、今月の本、新作の案内を送るちらし案内/チラシの配布
- ・本棚で人を分断しないでほしい/エレベーター、エスカレーター
- ・体の不自由な方の補佐/ボランティアを募る（体のご不自由な方）

○それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？

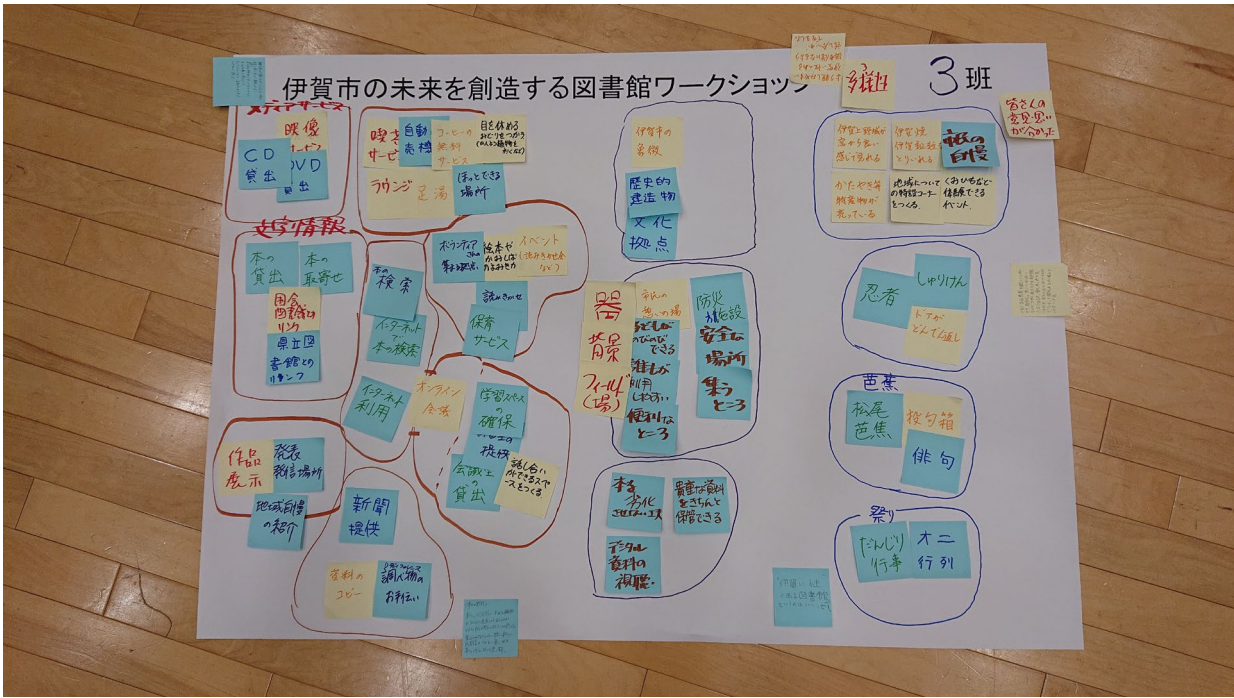
- ・ 観光拠点
- ・ 伊賀の人（出身者）展示場
- ・ 循環を生む<図書の循環→サービスの循環→物、お金の循環→人の循環>/にぎわいの中心、人の幸せの中心に

<感想>

- ・ 図書館の未来像が見えてきた気がします。
- ・ いろいろな人と話して、自分の中で考えていた図書館の概念が壊れたように感じました。また、今まで知らなかったことも知ることができました。図書館づくりにも積極的にこれからも参加していきたいと思いました。
- ・ 性別、年齢、立場の違う方にお会いして意見を通わせ、考え方を話すことができて楽しかったです。考える機会を頂けた事を嬉しく思います。ありがとうございました。
- ・ 図書館予算をアップしてほしい。
- ・ 新しい図書館の希望が、期待が、あふれ出てきました。人の動く波をどう動かすか、作り出すか、その渦の中心に地域的にも図書館が必要だと思います。図書館へバスで、そしてそのまわりで買い物、お茶、いろんなサービスを受ける。一生懸命知恵を絞ったこの結果を、ワークショップの話し合いを生かしてください。ボツにしないで、形だけにしないでネ。



〔3 班〕



○図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？

- ・CD 貸出/DVD 貸出/映像サービス
- ・喫茶サービス/自動販売機/コーヒーの無料サービス/目を休めるみどりをつかう（観葉植物を置くなど）/ラウンジ/足湯/ほっとできる場所
- ・本の貸出/本の取寄せ/国会図書館とのリンク/県立図書館とのリンク/本の検索/インターネットで本の検索/インターネット利用/オンライン会議/学習スペースの確保/自習室の提供/会議室の貸出/話し合いができるスペースをつくる
- ・作品展示/発表発信場所/地域自慢の紹介
- ・新聞提供/資料のコピー/リファレンス、調べもののお手伝い

○図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？

- ・伊賀市の象徴/歴史的建造物/文化拠点
- ・器/背景/フィールド（場）
- ・市民の憩いの場/子どもがのびのびできる/誰もが利用しやすい/便利なところ
- ・防災施設/安全な場所/集うところ
- ・本を劣化させない工夫/貴重な資料をきちんと保管できる/デジタル資料の視聴

○それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？

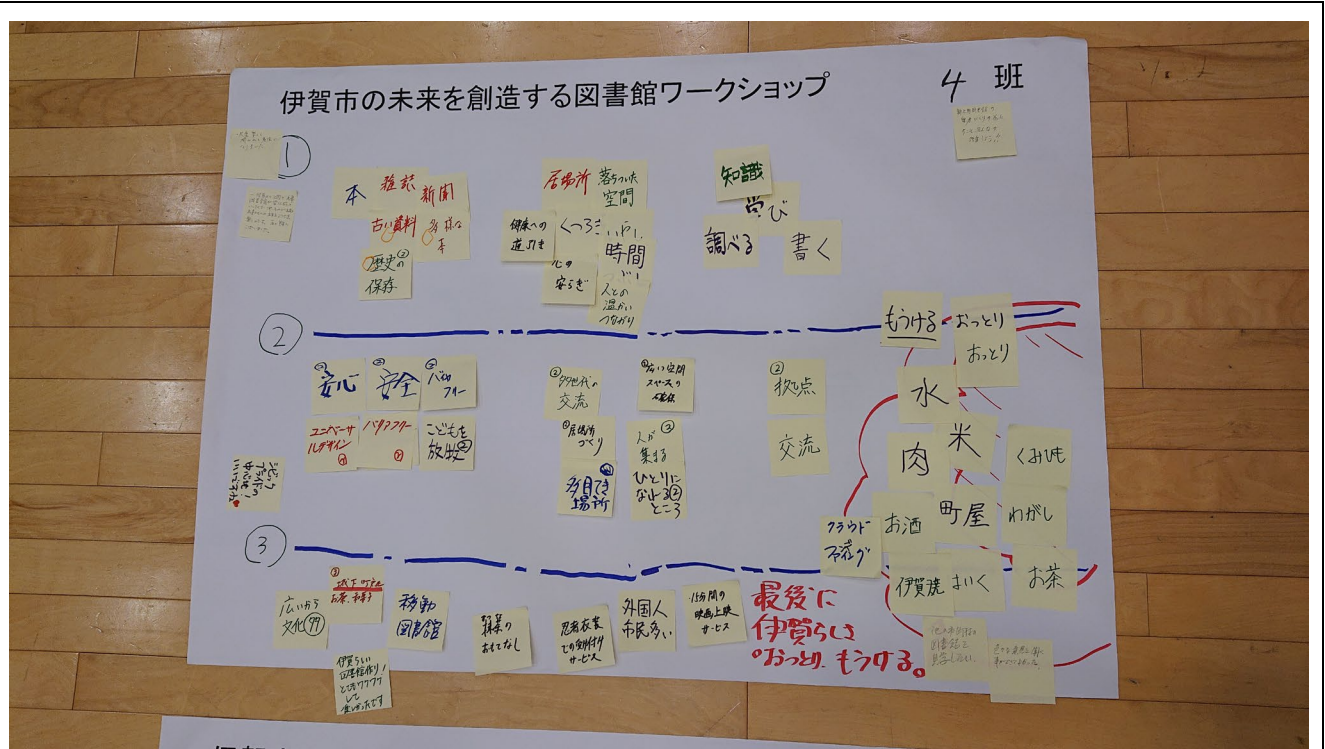
- ・伊賀上野城が窓から良い感じで見れる/伊賀焼、伊賀組紐を取り入れる/組紐など体験できるイベント/かたやき等特産物が売っている/地域についての特設コーナーをつくる/市民の自慢
- ・忍者/手裏剣/ドアがどんでん返し
- ・松尾芭蕉/俳句箱/俳句
- ・だんじり行事/オニ行列

<感想>

- ・雑談が盛り上がってしまった時の話の戻し方が難しかった。話をまとめる時にキーワードのようにまとめる事を考えたら、もっとスムーズに話がまとまったのかなと思った。
- ・より親しみやすい“伊賀い性”のある図書館になるよう話し合いができました。
- ・皆さんの意見、思いが分かった。
- ・さまざまな意見を聞くことができ、自分じゃ思いつかないアイデアがありとても勉強になりました。楽しかったです。これから、自分になにができるかどうかやって聞かれるか考えていきたいです。
- ・“伊賀い性”のある図書館というのはいいです。
- ・新しい図書館に求める機能がたくさん意見としてだされたが、どれも自分の考えと似ていると感じた。集まった皆さんと一緒に新しい図書館をつくる一員にぜひ寄せてもらいたいと思います。



〔 4 班〕



○図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？

- ・ 本/雑誌/新聞/古い資料/多様な本/歴史の保存
- ・ 居場所/落ち着いた空間/健康への道引き/くつろぎ/いやし/時間つぶし/人との温かいつながり/心の安らぎ
- ・ 知識/学び/調べる/書く

○図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？

- ・ 安心/安全/バリアフリー/ユニバーサルデザイン/こどもを放牧
- ・ 多世代の交流/居場所づくり/多目的場所/広い空間スペースの確保/人が集まる/ひとりになれるところ
- ・ 拠点/交流

○それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？

- ・ 広いから文化が多い/城下町文化（お茶、和菓子）/抹茶のおもてなし/忍者衣装での受付サービス/外国人市民多い/水/米/肉/お酒/伊賀焼き/町屋/俳句/組紐/和菓子/お茶
- ・ 15 分間の映画上映サービス
- ・ 移動図書館
- ・ クラウドファンディング
- ・ おっとり/もうける

<感想>

- ・ 色々な意見を聞く事ができてよかった
- ・ 他の市町村の図書館を見学したい。
- ・ 伊賀らしい図書館作り！とてもワクワクして楽しかったです。
- ・ シビックプライドの中心地！いいですね

- ・大変楽しく関わられて勉強になりました。
- ・一回目より二回で出席。図書館が皆様の意見でできる物が楽しみです。ありがとうございました。



〔5 班〕



○図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？

- ・ 多言語の案内/多言語通訳
- ・ 歴史資料/資料の案内/デジタルアーカイブ/電子書籍体験/タブレットの貸出/知識の宝庫/本の無料貸出/読み聞かせ/映像貸出/担い手支援

○図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？

- ・ 子どものいれる場所/勉強場所/社会人の学びの場/読む場所/小グループのイベント開催場所/大小の会議室/交流できる場/子ども向け映画、人形劇の上映会/昼寝の場所/憩いの場所/心地よい場所/芝生/緑陰、木陰
- ・ 市のランドマーク
- ・ 本の感想の交流/おしゃべりのできる場/カフェ/マッサーヂェア

○それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？

- ・ 古文書、城下町の資料の提供
- ・ 芭蕉の句の模写/写経のように芭蕉の句を模写するチャンス/芭蕉さんの旅をジオラマにする/芭蕉資料の提供/芭蕉さん VR 体験/いつ行っても俳句の作り方を教えてもらえる
- ・ 忍者体験/任岳の発信場所/忍者研究の成果が閲覧できるもの

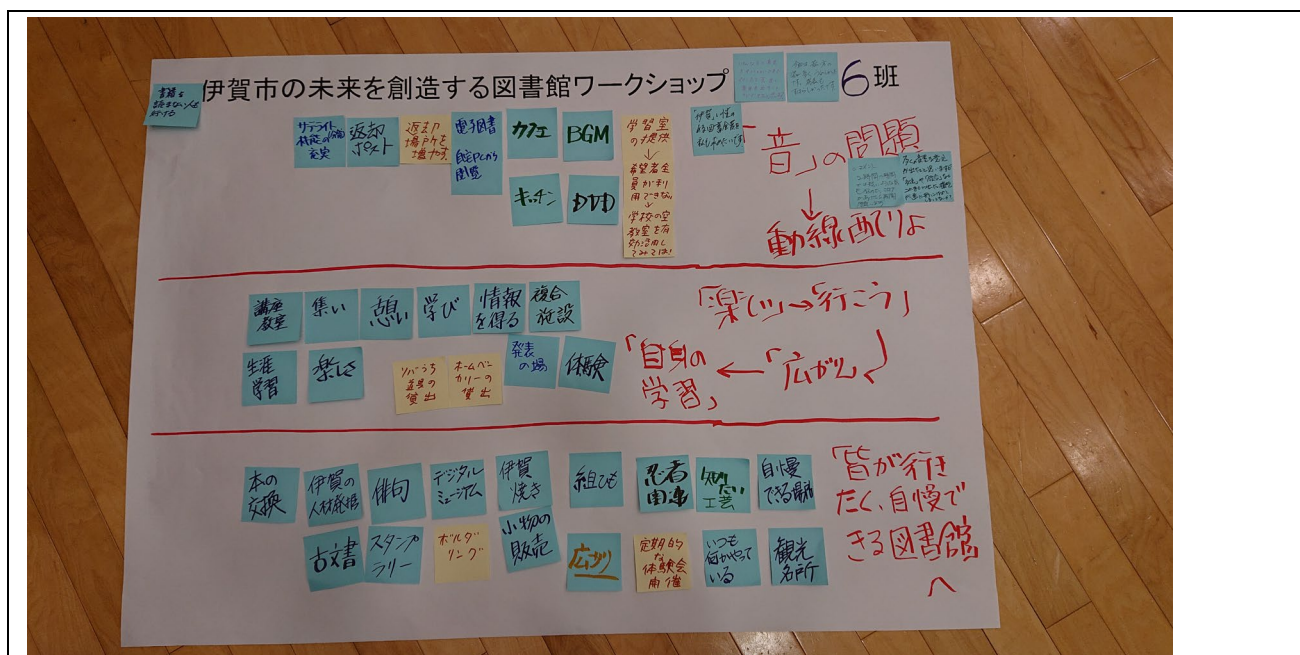
<感想>

- ・ 伊賀らしいまちづくりの拠点とするためには市民みんなが何かで関われる仕組みが必要だと思いました。
- ・ 図書館をつくるにあたって、居心地のよさだけでなく、その地域ならではの良さを盛り込んでいくことが大切だと勉強になりました。
- ・ 図書館のサービス、ハードのあるべき姿を議論することができ良かったです。

- ・行政任せにせず、市民と一緒に自分達で作る図書館。自分が関われることを考えてみたいと思いました。



〔 6 班〕



○図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？

- ・サテライト（分館）機能の充実
- ・返却ポスト/返却場所を増やす
- ・電子図書/自宅PCから閲覧
- ・カフェ/キッチン/BGM/DVD
- ・学習室の提供→希望者全員が利用できない→学校の空教室を有効活用してみては！

○図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？

- ・講座教室/集い/生涯学習/発表の場/情報を得る
- ・憩い
- ・複合施設
- ・体験/そば打ち道具の貸出/ホームベーカリーの貸出/楽しさ

○それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？

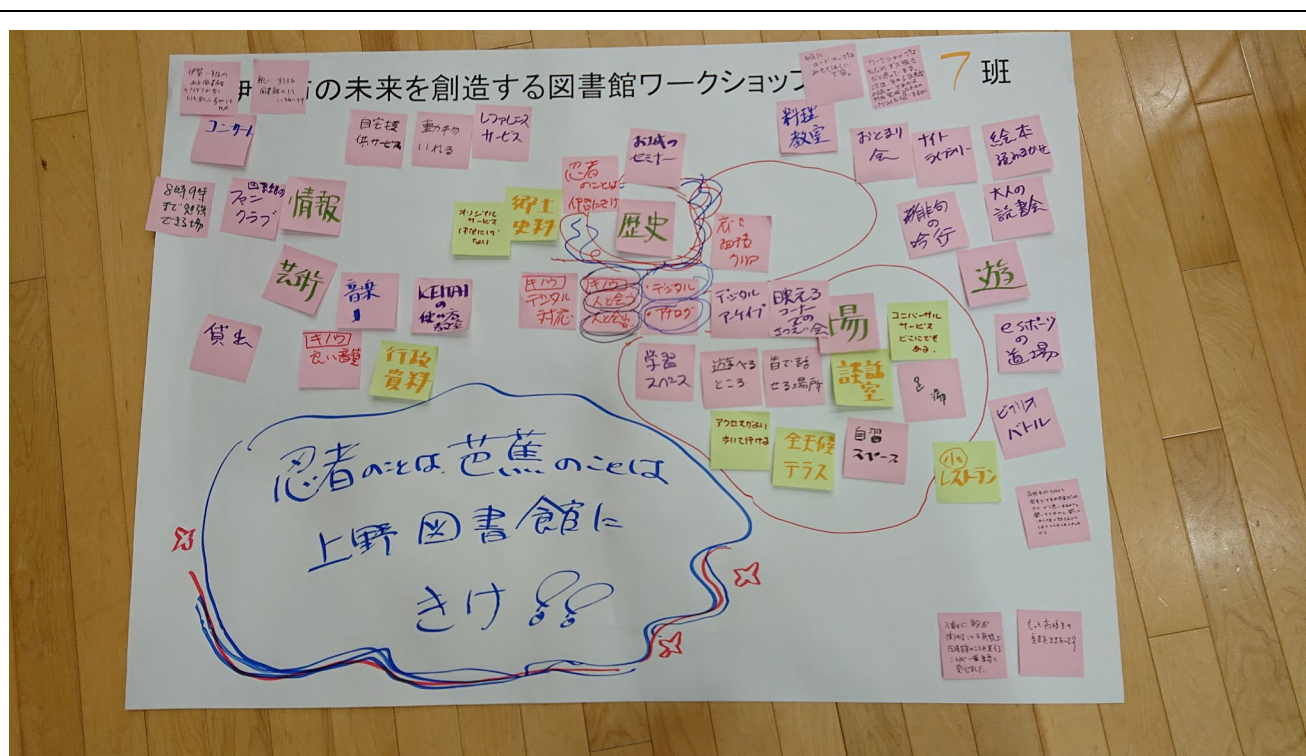
- ・本の交換
- ・伊賀の人材発掘/広がり
- ・俳句/伊賀焼き/古門書/小物の販売/組紐/忍者関連/知りたい工芸
- ・定期的な体験会開催/いつも何かやっている
- ・デジタルミュージアム/スタンプラリー/ボルドリング/観光名所/自慢できる場所

<感想>

- ・多くの貴重な意見が出たかと思いますが「交流」や「飲食」などこれまでに出了構想が逆に形にはめてしまっていないか。
- ・2時間の時間では短いような気もするので、コロナがあけたら再開願います。
- ・今回は若い方の姿が多く、うれしかったです。発表も素晴らしかったです。
- ・いろいろな方の意見を聞くことができて、よかったです。良い意見も出すことができたと思います。
- ・「伊賀」い性のある図書館を私も求めたいです。



〔 7 班〕



○図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？

- ・コンサート/図書館のファンクラブ/情報/芸術/音楽/貸出/行政資料/郷土資料/ケイタイの使い方教室
- ・いい音質/デジタル対応/人と会う、人と会話する/デジタルアーカイブ/オリジナルサービス伊賀にしかない/デジタル、アナログ
- ・料理教室/お泊り会/ナイトライブラリー/絵本読み聞かせ/俳句の吟行/大人の読書会/es スポーツの道場/ビブリオバトル

○図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？

- ・蔵書面積クリア
- ・アクセスがよい/歩いて行ける
- ・遊べる場所/皆で話せる場所/談話室/歩いて行ける
- ・映えるコーナーでの撮影会
- ・学習スペース/自習スペース/8時9時まで勉強できる場
- ・全天候テラス/足湯
- ・ユニバーサルサービス/どこにでもある

○それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？

- ・忍者のことは伊賀に聞け/お城のセミナー/歴史
- ・忍者のことは、芭蕉のことは、上野図書館にきけ！！

<感想>

- ・“伊賀い性”のある図書館のアイデアが多く、とても楽しく参加できました。
- ・新しい素敵な図書館にしていきたいです。
- ・ワークショップはただのガス抜きだと思っています。次回市から図書館の話ができるのは 99%完成した

もののパブコメだと思いますが、市民にロードマップは見せてほしいです。

- もっと高校生の意見を聞きたいです。
- 確かに自分が関わることを前提に図書館のことを考えることが一番重要だと感じました。





○図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？

【内】

- ・ 検索システム/声かけ、サービスカウンター/このコーナーに行けば資料が揃う

【外】

- ・ 環境配慮/ソーラー/CO2 削減

【移動】

- ・ デマンドバス

○図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？

【居場所】

- ・ 来やすい/フラットと立ち寄る/ゆっくり休みたい/足浴/待ち時間利用/仮眠スペース/庭
- ・ 子どもから高齢者まで利用できる/子連れで行ける

【独立スペース】

- ・ 独立スペース（ニーズに応じた）/施設サービス/学習ボランティア/外国人の人との交流（文化ことば）/パソコン可スペース/学習スペース/活動発表/展示スペース/飲食スペース/サークル活動ができるスペース/声を出しても良い

○それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？

- ・ シンボル
- ・ 伊賀市民が誇れる
- ・ 飽きない形の建物/特徴ある
- ・ 伝統建物/工芸品/組紐/伊賀焼き/忍者/水/米/酒/温泉

<感想>

- ・グループワークをする中や各班の発表も聞いて柔軟な発想ができ新しい図書館への展望がもてました。ぜひ魅力的な図書館を作りたいですネ。
- ・どのグループも素晴らしい考えを持っていてすごく刺激になりました。“伊賀”らしい“伊賀”いな図書館ができる事楽しみにしています。
- ・まずは予算が必要。上司に予算を取ってもらう。市民の声として要求。他市、他県、先進地から学び、魅力的な図書館に近づけていく。
- ・発表のあった様々な意見をどのように実現していくかが課題であり、議論を深める必要がある点だと感じます。
- ・はじめてのワークショップ新鮮でした。不慣れな司会役を皆さんに助けていただき、良き発表にまとめていただきありがとうございます。また参加機会をいただきありがとうございます。

